



第109回

美容

日本

外科学会

The 109th Congress of
Japan Society of Aesthetic Surgery

匠

の技を学ぶ、
見る、魅せる
～絶対的満足を目指して～

プログラム・抄録集

会期

2021年5月26日(水)・27日(木)

会場

ANAインターコンチネンタルホテル東京

会長

酒井 直彦 銀座S美容・形成外科クリニック 院長



タイムテーブル

※発表順が変更になる可能性があります。あらかじめご了承ください。
※敬称略

第1日目 2021年5月26日(水)

	第1会場 B1階 プロミネンスI	第2会場 B1階 ギャラクシーI+II	第3会場 B1階 ギャラクシーIII
9:00	開会の辞 8:55~9:00 Live サージェリー 1 9:00~10:30 匠の技 1: 眼瞼下垂の手術 座長: 池田 欣生 演者: 小泉 正樹	シンポジウム 4 9:00~10:30 痩身治療: 機器と注射剤でここまでできる 座長: 宮田 成章 演者: 下島 久美子 宮田 成章 河村 優子 西川 雄希 杉野 宏子	スポンサードセミナー 1 9:00~10:00 溶ける糸でここまで出来る!! リフトアップと鼻の形成 座長: 鎌倉 達郎 演者: 田中 亜希子 共催: Eye-Lens Pte Ltd.
10:00		シンポジウム 9 10:00~11:00 口唇形成 座長: 田中 亜希子 演者: 中村 光伸 田中 亜希子 牧野 陽二郎 森川 一彦	
11:00	海外招待講演 1 10:45~11:55 Developing Consistency and Excellence in Rhinoplasty 座長: 吉村 浩太郎 演者: Rod J. Rohrich	シンポジウム 5 10:35~12:05 機器と注入によるシワたるみ治療、ここまでできる 座長: 石川 浩一 演者: 谷 祐子 今泉 明子 伊藤 康平 松宮 敏恵 石川 浩一 吉澤 秀和	シンポジウム 10 11:05~12:05 美しい眼を求めて 座長: 池田 欣生 演者: 中辻 隆徳 池田 欣生 片岡 二郎 森川 一彦
12:00	次回学会長 委嘱状授与式 12:00~12:05		
13:00	ランチョンセミナー 1 12:10~13:10 座長: 高田 章好 演者: 西川 礼華 田中 真輔 共催: PRSS.Japan 株式会社	ランチョンセミナー 2 12:10~13:10 筋肉増強機器による Body Contouring 座長: 石川 浩一 演者: 下島 久美子 奥 謙太郎 共催: サイノシアー株式会社	ランチョンセミナー 3 12:10~13:10 最新メソセラピーガンを使用した自己血サイトカイン療法 座長: 梁川 厚子 演者: 梁川 厚子, 奥村 智子, 高橋 栄里 共催: ワイズ・インターナショナル株式会社/株式会社ネイチャーフォース・ジャパン
14:00	シンポジウム 1 13:15~14:45 匠の技 2: 成功のコツと注意すべき pitfall (ビデオシンポジウム) 「陥没乳頭、下顎 V 字型骨切り、眉下切開」 座長: 保志名 勝 演者: 境 隆博 酒井 成身 廣比 利次	シンポジウム 6 13:15~14:45 鼻翼縮小術・鼻翼挙上術 座長: 大口 春雄 演者: 室 孝明 矢沢 慶史 前多 一彦 大口 春雄 村松 英俊	一般演題 1 13:15~14:00 座長: 渡邊 千春 演者: 山本 しおり 本田 治樹 市原 佑紀 片岡 二郎
15:00	シンポジウム 2 14:55~16:25 下眼瞼の老化と治療戦略 座長: 水谷 和則 演者: 水谷 和則 王 蘇 百澤 明 佐藤 英明 田中 哲一郎	シンポジウム 7 14:55~16:25 鼻尖形成術のキモ: 鼻先でこれだけ美しくなる 座長: 室 孝明 演者: 前多 一彦 居川 和広 小野 准平 大場 教弘 藤本 雅史	シンポジウム 11 14:55~16:25 困難な症例と治療 座長: 大竹 尚之 演者: 村松 英俊 大橋 菜都子 山口 悟 倉片 優 大島 直也
16:00			
17:00	シンポジウム 3 16:30~18:00 美容医療における再生医療の展望と実際 座長: 高戸 毅 演者: 井上 啓太 北條 元治 吉村 浩太郎 星 和人	シンポジウム 8 16:30~18:00 Two Jaw Surgery (Le Fort I 型骨切り術+下顎枝矢状分割術) ~美しい顔面輪郭を形成するための手術計画とその手術法~ 座長: 廣比 利次 演者: 廣比 利次 山本 崇弘 宇田 宏一 山口 憲昭 倉片 優	シンポジウム 12 16:35~18:00 癒痕を作らないニキビ治療とアクネ癬痕に対する治療のアルゴリズム 座長: 須賀 康 演者: 堀内 祐紀 渡邊 千春 木村 有太子 荒尾 直樹
18:00			

第2日目 2021年5月27日(木)

	第1会場 B1階 プロミネンスI	第2会場 B1階 ギャラクシーI+II	第3会場 B1階 ギャラクシーIII
9:00	Live サージェリー 2 9:00~10:30 匠の技 3: 解剖学に基づいたフィラー注入によるフルフェイス治療 座長: 今泉 明子 演者: 岩城 佳津美	シンポジウム 15 9:00~10:30 鼻中隔延長術のキモ: 最も頻用する延長法と美しい鼻先形成のポイント 座長: 福田 慶三 演者: 田中 真輔 新行内 芳明 八杉 悠 永井 宏治 渡辺 頼勝	一般演題 3 9:10~9:55 座長: 吉原 伯 演者: 笹尾 卓史 小川 英朗 小室 好一 増田 えりか
10:00			一般演題 4 10:00~10:55 座長: 長野 寛史 演者: 富田 壮一 中居 弘一 宋 貴彰 蝶野 貴彦 小室 好一
11:00	海外招待講演 2 10:45~11:55 My 30 year experience in surgical rejuvenation of the aging face; individualization of surgical approach to meet patient specific aesthetic goals in Western and Asian faces 座長: 野平 久仁彦 演者: James M. Stuzin	シンポジウム 16 10:35~12:05 肝斑+ADMの混在治療、私の戦略と実践 座長: 山下 理絵 演者: 奥 謙太郎 近藤 謙司 秋田 浩孝 黄 聖琥	スポンサードセミナー 2 11:00~12:00 座長: 高田 章好 演者: H. Eray Copcu Behrooz Kasraee 共催: メトラス株式会社
12:00			
13:00	ランチョンセミナー 4 12:10~13:10 新時代のトータルフェイシャルトリートメント -さらなる進化を遂げる注入治療- 座長: 鎌倉 達郎 演者: 今泉 明子 共催: アラガン・ジャパン株式会社	ランチョンセミナー 5 12:10~13:10 美容医療における焦点式体外衝撃波の有用性 座長: 山下 理絵 演者: 木村 久理子 伊藤 史子 共催: 株式会社メディカルロジック	ランチョンセミナー 6 12:10~13:10 肝斑を伴うアジア人皮膚における新たな Skin Rejuvenation 治療について 座長: 黄 聖琥 演者: 西川 礼華 共催: マーベラスビューティージャパン株式会社
14:00	シンポジウム 13 13:15~14:45 匠の技 4: 成功のコツと注意すべき pitfall (ビデオシンポジウム) 「重瞼術、下眼瞼形成術、鼻中隔延長」 座長: 大慈弥 裕之 演者: 野平 久仁彦 小室 裕浩 菅原 康志	シンポジウム 17 13:15~14:45 最大限の効果を狙った根拠的フェイスリフト 座長: 鈴木 芳郎 演者: 高橋 金男 牧野 太郎 山口 憲昭 宇津木 龍一 与座 聡	シンポジウム 19 13:15~14:45 他院修正・unfavorable results of the recovery shots 座長: 鎌倉 達郎 演者: 山本 豊 上 茂 石原 信浩 山脇 孝徳 李 政秀
15:00	シンポジウム 14 14:50~16:25 JSAS・JSAPS 共同開催セッション: これまでの豊胸術、これからの豊胸術 座長: 武田 啓 高田 章好 演者: 新城 憲 丹羽 幸司 鎌倉 達郎 大橋 昌敬 三鍋 俊春	シンポジウム 18 14:55~16:25 スレッドリフトとコンビネーションフェイスリフト 座長: 衣笠 哲雄 演者: 寺町 英明 平井 隆 田中 永紅 鈴木 芳郎 平田 修人	シンポジウム 20 14:55~16:25 隆鼻術とその材料 座長: 菅原 康志 演者: 松本 茂 中北 信昭 菅原 康志 島倉 康人 水野 力
16:00			
17:00			
18:00			

Live サージェリー 1

匠の技 1：眼瞼下垂の手術

■会場／第1会場

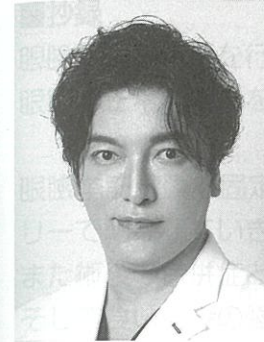
■日時／5月26日(水)
9:00~10:30

■演者

- (1) 眼瞼下垂の手術
小泉 正樹
(こいずみ形成クリニック)

■座長／池田 欣生
(東京皮膚科・形成外科)

座長



池田 欣生
Yoshio Ikeda

東京皮膚科・形成外科
Tokyo Skin/Plastic Surgery Clinic

【経歴】

1995年 大阪医科大学 医学部 卒業
1996年 大阪医科大学附属病院 形成外科
2000年 大阪いけだクリニック 開院
2002年 東海大学病院 形成外科 美容外科臨床助手
2005年 医療法人邦寿会 銀座いけだクリニック 院長
2010年 日本アンチエイジング外科学会 理事長就任
2016年 医療法人邦寿会 イーストワン皮膚科・形成外科 院長
2017年 医療アートメイク学会 発足理事長就任

**RFAL デバイスを用いた顔面輪郭形成術の可能性**

Facial Contouring with Radiofrequency Assisted Lipolysis

吉澤 秀和、池田 欣生、松宮 敏恵、黒崎 泰史、森川 一彦

Hidekazu Yoshizawa, Yoshio Ikeda, Toshie Matsumiya, Yasushi Kurosaki,
Kazuhiko Morikawa

東京皮膚科・形成外科

Tokyo Skin/Plastic Surgery Clinic

【経歴】

2006 年 順天堂大学医学部卒業
2008 年 順天堂大学医学部 救急・災害医学講座 助手
2009 年 順天堂大学形成外科 助手
2012 年 石井会石井病院 形成外科 医員
2015 年 戸田中央総合病院 形成外科 部長
2017 年 順天堂大学医学部附属浦安病院 形成外科・再建外科 助教
2019 年 東京皮膚科形成外科 常勤
順天堂大学形成外科 非常勤助教 現在に至る

■抄録

2018 年末より RFAL デバイス（エンブレース・フェイスタイト）の施術が、当院にて本邦で初めて試験的に開始された。2020 年末までの 2 年間の間に 92 症例を経験したため、特に顔面に対し施術を行った症例について文献的考察を含めて報告する。

女性 78 名、男性 14 名、平均年齢 44.9 歳であった（女性平均 44.8 歳、男性平均 45.8 歳）。主に顔面の軟部組織の輪郭形成を行い、法令線 52 例、フェイスライン 63 例、顎下 41 例であった。脂肪吸引を併用した症例は 13 例であった。

技術の進歩により RFAL デバイスを用いる事で従来であれば、外科的手術でしか行えなかった顔面軟部組織輪郭形成術がより傷跡の少ない身近な施術となる可能性が考えられた。

しかし、非侵襲的な施術ではあるものの、脂肪組織および FSN (fibro-septal network) を 70℃ 近い高周波を加えるため、施術後のダウンタイム (DT) は報告の kJ を参考に照射をしながら、なるべく少なくなるように工夫しながら照射をしている。

症例の結果を供覧しながら課題など含めて報告する。

■Abstract

The purpose of this review is to report our experience using radiofrequency-assisted liposuction (RFAL) for face contouring.

From December 2018 to December 2020, 92 patients who underwent RFAL treatment of nasolabial fold & cheek area (n=52), jowls area (n=63) and double chin area (n=41).

The patients' ages ranged between 20s and 70s, and most were in their 40s to 50s (average age, 44.9 years).

RFAL is a relatively new technique that utilizes radiofrequency energy applied to the soft tissues in a bipolar manner, both internally as coagulative energy and externally as nonablative radiofrequency heating, to stimulate contraction and collagen formation by thermal effect to the skin while in the same time to coagulate and liquify adipose tissue and stimulate profound contraction of the fibroseptal network (FSN).



人中部だけではない上白唇短縮術のポイント。口角挙上術はアンチエイジングの手術ですが、併施は適切です。

Lip Lift by White lip resection and Mouth corner Lift

森川 一彦^{1,2)}、池田 欣生¹⁾、吉澤 秀和¹⁾

Kazuhiko Morikawa^{1,2)}, Yosio Ikeda¹⁾, Hidekazu Yosizawa¹⁾

東京皮膚科・形成外科¹⁾、大阪いけだクリニック²⁾

Tokyo Skin/Plastic Surgery Clinic¹⁾, Ikeda clinic²⁾

【経歴】

1987年 北里大学医学部 卒業 同年北里大学病院 形成外科 入局
 1992年 横浜南共済病院 形成外科 チーフレジデント
 1993年 茅ヶ崎徳州会総合病院 形成外科 医長
 1995年 北里研究所病院 形成外科・美容外科 医長
 1997年 茅ヶ崎徳州会総合病院 形成外科・美容外科 部長
 1998年 銀座美容外科医院 副院長
 1999年 北里大学医学部 形成外科・美容外科 助手
 2000年 大和徳州会病院 形成外科・美容外科部長
 2002年 アリス美容外科大分 院長
 2005年 吉祥寺形成外科 クリニック 院長
 2008年 銀座いけだクリニック 入職
 2017年 東京皮膚科・形成外科 院長

■抄録

口周りの手術は多様です。赤唇と白唇だけでも増大、減量、縮小等々が求められ、そのバランスが重要です。口唇は歯槽の骨格に影響されますし、周囲の臓器である外鼻や頤との位置関係。顔面との比率も考慮されるべきです。

赤唇を増大外反させ白唇を短縮する上白唇短縮術は、2003年に Oscar Ramirez 等が“Bull's horn”を発表して以来行われている手術です。

人中部の白唇の縦長が15mm以上なら若年者でも適応し、加齢による伸展にアンチエイジング手術としても適応します。

デザイン上幾つかのポイントがあります。両側鼻翼間を同幅切除して富士山型を防ぐこと。鼻孔底隆起の下を切開して鼻孔内の下半分が露呈しない様にすること。鼻翼横のドッグイヤーをつじつま合わせて縫合すること。手技的には筋肉縫合で緊張を緩和しC-カールを作製した後に、真皮縫合で密に寄せて後戻りを防ぐことなどを提示します。またオリジナルで鼻柱基部と人中側をずらして真皮縫合し、人中を狭く深く、弓を急峻に、口唇結節を前向きにするなどの効果を加えることがあります。

口角挙上術は2013年に Chile の Pedro Vidal 等が発表していますが、白唇に瘢痕ができるためにアジア人には適応しないと考えられます。韓国から一流誌以外に発表され、私はライブサージェリーで視た口角の上を三角形に切除し、上下赤唇縁を切開して引き上げる術式を使っています。頂点の位置で口唇横形を拡大出来ませんが、顔面の部品の横径との黄金比率を考慮します。赤唇縁の口角部にはリッジがないので、損ねる懸念がありません。

上白唇短縮術で口角が相対的に下垂することが予想される場合には同時手術が勧められます。

昨年1年間で上口唇短縮単独手術18例、口角挙上単独手術13例、上口唇短縮術と口角挙上術の併施12例、合わせて43症例を施行。マスク義務のために多かったと考えられる。2016年から2020年の5年間には246症例。年間平均5/246=約50症例を経験しています。

■Abstract

Upper lip lift by White lip resection

Mouth corner lift by Triangle resection

シンポジウム 10

美しい眼を求めて

■会場／第3会場

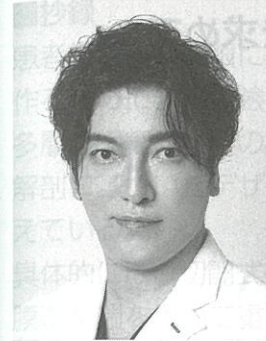
■日時／5月26日(水)
11:05~12:05

■演者

- (1) 眼瞼の機能解剖に基づいた重瞼術～美しい眼を求めて
中辻 隆徳
(聖心美容クリニック)
- (2) 美しい目を追求した20年間
池田 欣生
(東京皮膚科・形成外科)
- (3) 眉下切開におけるデザインセオリーとPRP再生療法の有用性について
片岡 二郎
(湘南美容クリニック 新宿本院)
- (4) 眼瞼形成術には目頭Z-形成術を連続して、二重らしく！蒙古襞の拘縮解除は目頭切除では不可能です。
森川 一彦
(東京皮膚科・形成外科/大阪いけだクリニック)

■座長／池田 欣生
(東京皮膚科・形成外科)

座長



池田 欣生
Yoshio Ikeda

東京皮膚科・形成外科
Tokyo Skin/Plastic Surgery Clinic

【経歴】

1995年 大阪医科大学 医学部 卒業
1996年 大阪医科大学附属病院 形成外科
2000年 大阪いけだクリニック 開院
2002年 東海大学病院 形成外科 美容外科臨床助手
2005年 医療法人邦寿会 銀座いけだクリニック 院長
2010年 日本アンチエイジング外科学会 理事長就任
2016年 医療法人邦寿会 イーストワン皮膚科・形成外科 院長
2017年 医療アートメイク学会 発足理事長就任



美しい目を追求した 20 年間

20 years beautiful eyes surgery of Tokyo Skin and plastic surgery Clinic

池田 欣生、森川 一彦、吉澤 秀和、黒崎 泰史、辻野 一郎、松宮 敏恵、岡田 宇広
Yoshio Ikeda, Kazuhiko Morikawa, Hidekazu Yoshizawa, Yasushi Kurosaki,
Ichiro Tsujino, Toshie Matsumiya, Takahiro Okada

東京皮膚科・形成外科

Tokyo Skin/Plastic Surgery Clinic

【経歴】

- 1995 年 大阪医科大学 医学部 卒業
- 1996 年 大阪医科大学附属病院 形成外科
- 2000 年 大阪いけだクリニック 開院
- 2002 年 東海大学病院 形成外科 美容外科臨床助手
- 2005 年 医療法人邦寿会 銀座いけだクリニック 院長
- 2010 年 日本アンチエイジング外科学会 理事長就任
- 2016 年 医療法人邦寿会 イーストワン皮膚科・形成外科 院長
- 2017 年 医療アートメイク学会 発足理事長就任

■抄録

開業して 20 年間、常に美しい目を追求し続けてきた。

最初は腫れの少ない埋没法、FT 法と MT 法を売りにして開業。そして医療アートメイクによる眉とアイラインのこだわり。その後世界一細い針、エンジェニードルの開発と涙服ヒアルロン酸、切らない眼瞼下垂手術。そして傷跡が目立たない目頭切開と眉下切開。PRP によるクマ治療と涙袋形成術。最近 PCL によるハーフスレッド治療によりホリを深くして目を大きくする治療を開発中である。

開業と並行して日本アンチエイジング外科学会と医療アートメイク学会を立ち上げて流行っている開業医とともにより良い治療の情報交換を行ってきた。

安心で安全な美容医療を提供し続けた 20 年間で「美容医療なんて必要ない」という患者が今では「美容医療を受けるのが普通」になってきたのは喜ばしい限りである。

「美容外科は目に始まり、目に終わる」と言われている。

「一重から二重」、というコンプレックス産業から「美しい人をさらに美しく」「若い時の美しい目をそのままに」、という患者のニーズに合わせて、東京皮膚科形成外科が進化してきた 20 年の美しい目の追求について報告する。

■Abstract

For 20 years since, I always pursued beautiful eyes surgery. At first, the burial method with less swelling, the FT method and the MT method were done. And the attention to eyebrows and eyeliner by medical permanent makeup. After that, the development of the world's thinnest needle, Angel Needle, hyaluronic acid for tears, and non incisional eyelid ptosis surgery. And an incision in the inner corner of the eye and an incision under the eyebrows where scars are not noticeable. After that bear treatment with PRP.

Recently, we are developing a treatment that deepens the horizon and enlarges the eyes by half-thread treatment with PCL. In parallel with the opening of the clinic, we have established the Japan Society for Anti-Aging Surgery and the Medical Art Makeup Society to exchange information on better treatment with the popular practitioners. In the 20 years that we have continued to provide safe and secure cosmetology, we are pleased that patients who "do not need cosmetology" have now become "normal to receive cosmetology". It is said that "cosmetic surgery begins and ends in the eye." 20 years of evolution of Tokyo Skin and Plastic Surgery Clinic Plastic Surgery meet the needs of patients from the complex industry of "single to double eyelid surgery" to "make beautiful eyes even more beautiful" and "keep the beautiful eyes of youth and time". I will Report on the pursuit of beautiful eyes.



眼瞼形成術には目頭 Z-形成術を連続して、二重らしく！蒙古襞の拘縮解除は目頭切除では不可能です。

Medial Canthoplasty by Z-Plasty for Release of Constructure of Mongolian Fold

森川 一彦^{1,2)}、池田 欣生¹⁾、吉澤 秀和¹⁾

Kazuhiko Morikawa^{1,2)}, Yosio Ikeda¹⁾, Hidekazu Yosizawa¹⁾

東京皮膚科・形成外科¹⁾、大阪いけだクリニック²⁾

Tokyo Skin/Plastic Surgery Clinic¹⁾, Ikeda clinic²⁾

【経歴】

1987 年 北里大学医学部 卒業 同年北里大学医学部 形成外科 入局
1992 年 横浜南共済病院 形成外科 チーフレジデント
1993 年 茅ヶ崎徳州会総合病院 形成外科 医長
1995 年 北里研究所病院 形成外科・美容外科 医長
1997 年 茅ヶ崎徳州会総合病院 形成外科・美容外科 部長
1998 年 銀座美容外科医院 副院長
1999 年 北里大学医学部 形成外科・美容外科 助手
2000 年 大和徳州会病院 形成外科・美容外科部長
2002 年 アリス美容外科大分 院長
2005 年 吉祥寺形成外科 クリニック 院長
2008 年 銀座いけだクリニック 入職
2017 年 東京皮膚科・形成外科 院長

■抄録

眼瞼形成術の際には自然な二重瞼を造る為に、目頭切開術の併施が適切です。蒙古襞は拘縮ですから、目頭切開術は蒙古襞の切除では無く、Z-形成術で蒙古襞の拘縮の解除をするべきです。

重瞼術は前葉性眼瞼下垂症に対する手術で、眼瞼挙筋前転術は後葉性眼瞼下垂症に対する手術です。合わせて眼瞼形成術と称しますが、特に前葉性の場合蒙古襞の被さりと拘縮を伴う事が多いのです。遺伝子が同座だからと考えられます。

従って重瞼術を行なう際には二重瞼の平均像に相応しい蒙古襞に変える方が事前な形態と機能を得られると考えます。

そこで生来の二重瞼と一重瞼の内眼角間を計測して統計的に平均値を得た結果、二重瞼と一重瞼では内眼角間距離に 3mm の差が認められました。なお、内眼角間距離は眼裂横径や眼球位置を示すこの値を元に一重瞼を二重瞼に変える眼瞼形成術を行なう際には内眼角間距離を 3mm 近づける為に、机上で三角関数で計算するなら、一辺 4mm の Z-形成術をデザインすれば自然な形態になると言えます。

昨年は 20 例と減りましたが、2016 年から 2020 年の 5 年間は 150 例、年平均 $5/150=30$ 例に同時に切開法の眼瞼形成術に連続して目頭形成手術をしてきました。

■Abstract

Medial Canthoplasty using Z-plasty is release the Constructure of Mongolian fold.

Only this method is usable.